

## はじめに

本書は「大学受験をしよう！」と決意した高校生に最初に取り組んではほしい英文法の本です。この1冊で入試の文法問題（4択形式で、語彙問題を除いた純粋な文法問題）でしっかりと爪痕を残せるレベル（日東駒専で7割、MARCHレベルで5割の正答率）を目指します。

いわゆる「大学入試の入門書」に分類される本ですが、従来の入門書とは決定的に違う点が2つあります。

### ① 読者を子ども扱いしない

入門書のトーンはフレンドリー・ハイテンション・たくさんのかわいいイラストというのが業界でよくあるパターンですが、読者はすでに高校生です。たしかに今は英語が苦手かもしれないが、それは「部活をやっていたからかもしれない」「遊んでしまったのかもしれない」「やり方を間違えただけかもしれない」「遊んでしめ解力が弱いわけでも日本語が苦手なわけでもありませんよね。友達どうしの会話はテンポ良く進み、ドラマ・マンガの複雑なストーリーに感動しているはずです。

それなのに、教える側がいつまでも過剰にやさしくするのは、高校生の勉強をかえってジャマしたりモチベーションを下げたりするだけでしょう。本書は読者を1人の大人として扱い、無意味なフレンドリーさによる「中身の伴わないわかりやすさ」を演出するのではなく、「英語の解説」自体のわかりやすさで勝負します。

### ② 入試問題が解ける

入門書はどれもゼロから説明してくれますが、その分だけ到達点も低くなりがちです。でもせっかく1冊終えるからには「ある程度は入試問題が解ける」ようになつていいのですよね。本書はすべての章で入試問題を採用しています。選択肢を変えたり、英文を修正したりといったことは一切していません（要点確認として2択問題はありますが、採用した入試問題はすべて出題そのままの形です）。いくら入門書でも、甘やかされた問題ばかりに触れていると、実際の入試問題を見たときに挫折感を味わうものです。この1冊で受験生としてある程度は戦えるレベルまで進化することができます。

さあ、それでは始めましょう！

## 本書の対象読者

高校生であれば学年は問わず、高校英文法を始める高1生、受験を意識し始めた高2生、真剣に英文法に取り組みたい高3生まで使えますが、学年よりも以下のようないやな思いを1つでも抱えている高校生に読んでほしいと思っています。

- ☑ 「決まりだから覚えよう」という丸暗記英語がイヤ  
→ しっかり理論・背景を解説するので、納得して進めていきます。
- ☑ 学校指定の文法問題集に苦労している  
→ 定期テスト直前の丸暗記がなくなります。
- ☑ 受験にしか使えない文法はやりたくない  
→ 資格試験（TOEIC<sup>®</sup>テスト・英検）・英会話・CNNニュースなどを題材とした文法の解説本も執筆した経験から、将来を見越して解説しています。